



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろするる〜ど

2018/10月号

かいほうし  
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動を  
つづ 続けています。

## 〜サロン月間カレンダー10月〜

### ■文化交流活動

10月5日(金) 午前10時30分〜12時

「ダンス教室」15名・無料

場所：サロン託児室

10月12日(金) 午前10時〜12時

「書道体験」15名・参加費100円

場所：第1会議室・締切り 10/10

10月26日(金) 午前10時30分〜12時

「生け花教室」15名・花代500円

場所：サロン第1会議室・締切り 10/25

以上の対象はサロン学習者とボランティアの方。

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

### ■「第4回スキルアップ講習会」

10月13日(土) 午後2時〜4時

場所：サロン第2会議室(学習会の部屋)

テーマ：「あなた知ってる？」

〜府中に住む外国人の仕事や教育のこと〜

在留資格・住民登録・健保等

講師：生活情報支援部会員

対象：サロン・ボランティア(学習者も参加可)

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

### ■「10月勉強会」

10月17日(水) 午前10時〜12時

場所：サロン第1会議室(事務局隣の部屋)

テーマ：「日常で飛び交う敬語を考えよう」

学習者が来日し、日常生活に一步踏み出

と、そこには敬語があふれています。学習者が

耳にする敬語は、どんな場面でどんな表現が

あるのでしょうか。皆さんで話し合います。

対象：サロン・ボランティア(学習者も参加可)

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

### ■「バーベキューの集い」

10月20日(土) 午前10時30分〜午後2時頃

場所：多摩川河川敷(受付は終了しました)



## 「ミニワールドカフェ報告」

なつどう た かた じつこくという  
〜納豆の食べ方も十国十色! ?〜

ぶんかこうりゅうぶかい ありまけいこ  
文化交流部会 有馬圭子

5月に引き続き第2回目の「ミニワールドカフェ」  
が9月14日サロンで開催されました。

二つのグループに分かれて、それぞれ自己紹介と  
今興味のあることや食べ物についてなどをなるべく  
日本語で、少し英語や母国語を交えて話をしました。

食べ物についてのグループは、イランのナスタラ  
ンさんがイランの名物はピスタチオで銀杏に似てい  
ることを話して下さいました。イランのゾヘレさん  
は納豆が大好きで、キムチ、ラー油、ゴマ油、玉ね  
ぎなど混ぜて食べると美味しいことを披露、日本に  
いらしてまだ1か月のナスタランさんとは初対面で  
同国語が話せて嬉しい、と喜んでおられました。ま

た、ナスタランさんも同じ国の方と会えて安心されたようです。シンガポール出身のヴァレリーさんは、納豆は安くて栄養があるのでいつも買っているが自身で食べた事はないとのこと。でも子供には自分は顔をそむけながら食べさせた、とお話しくだしました。台湾出身の黄さんは、日本人のご主人は味噌汁、炒めものなども冷蔵庫から出したての冷たい物が好きで、温かい物好きな自分と合わせるのが大変とエピソードをお話しくだしました。

興味のあることなどを話したグループは、ルウさんはスポーツにとっても興味があるということでした。英語の先生をされているエヴァさんは日本在住が長いようですが、最近日本語がおかしいと気が付き、また学習会に通い出したとおっしゃっていました。アニカさんはダンスやカラオケが大好きとのこと。話が発展し、電話での苦労話、それぞれの国から日本にもってくると喜ばれるものなどについての話もしました。

参加された皆様からは—

- ・知っているようで知らない文化の違い、いろんな国の新しい知識を知ることができた。
- ・こういうミーティングは自然な日本語を話せてとても楽しい。
- ・新しい友達ができ嬉しかったので、もっと知り合いたい。
- ・みなさんフランクで大感激。こういう機会がもっと続くといい。
- ・こういう機会を通し、日本での生活の楽しみ方をもっと知ってもらいたい。
- ・色々な母国語を媒介して日本との違いをみんなに知ってもらおうイベントなどを企画しても面白いのではないかな。

—などのご感想をいただきました。

学習会のように先生と学習者という関係でなく、いろんな話をいろんな国の言葉を通して語りあえる時間でした。みなさん本当に楽しんでいただけたようで、次の開催を楽しみにされてお帰りになりました。



左からゾヘレさん、ナスタランさん(イラン)、有馬さん、アニカさん(ポーランド)



参加された学習者とボランティアの方々

## 世界の文化

「感謝の言葉」

デイン ティ タイン ハン(ベトナム)

皆さん、こんにちは。私はベトナムのハンです。内田先生の生徒です。私は今月21日帰国します。今日は最後の授業ですから「ありがとう」の気持ちを伝えます。

日本に来たばかりの頃、私は日本語が全然わからなかったのととても不安でした。幸いにも友達にサロンを紹介してもらいました。2016年11月からサロンで勉強を始めました。約2年近く大変お世話になり本当にありがとうございます。先生のおかげで日本語の意味や読み方、使い方、生活習慣

などが分かりました。それで私の生活は楽しくなりました。国に帰っても先生から教わったことを忘れずせつせと日本語の勉強を続けます。

皆さん、ベトナムに旅行する時は私に連絡して下さい。サロンでの貴重な体験や思い出を絶対に忘れません。本当に感謝しています。ありがとうございました。

(編集部注：月曜午後の学習者で、3月の日本語学習発表会にも参加されたハンさんは、9月19日に東京農工大学を卒業し21日に帰国されました。この文は、9月10日の最後の授業の休憩時間を利用してハンさんが述べた「感謝の言葉」です。)



## 「私たち結婚します」

チュウ ティ フォン タオ(ベトナム)

ハノイの東芝から派遣され来日し、サロンの金曜夜の学習会で日本語を学んでいたタオさんとファンゴクソンくんは、昨年9月にベトナムに帰国しました。それから1年、二人の間で愛が育まれ、この9月29日に目出度く結婚することになりました。結婚式を前に、タオさんにメール・インタビューをし、喜びの声とこれからの夢をお聞きしました。(編集部)

★タオさんとソンくんは、いつごろ、どこで知り合いましたか？

2010年に大学で会いました。同じクラスで勉強していました。私のクラスは70人ですが、女性は8人だけです。

★結婚式は、どこでおこなわれますか？

結婚式はソンさんの近くのレストラン(ハノイ)で行われます。でも、朝5時から私の家(ニンビン)へ行って迎えます。私たちの家の距離は120キロメートルです。

★ベトナムでは結婚式の前に二人の記念写真集を作るそうですが？

結婚式の前に、記念写真集を作りました。一日中に写真を撮影しました。とても疲れましたが嬉しか

ったです。私たちはVan Nien寺とYen So公園で撮影しました。その間、一週間ずっと雨が降っていましたので写真を撮れないことを心配しました。ラッキーでその日は雲があるが雨が降っていませんでした。良かったです。

★新婚旅行はどこへ行く予定ですか？

ベトナムのDa Latへ行く予定です。Da Latはロマンチックの所です、行ったこともありませんので行きたいです。そして、Da Latが高い所ですのでいつも寒いです。

★結婚したあと、どこに住みますか？

結婚した後に、ソンさんの家(ハノイ)に住みます。ソンさんの家族と一緒に住みます。

★結婚してから、どのような家庭を作りたいですか？

結婚してから夫婦は共働きます。家事も育児も一緒にします。子供は二人が欲しいです。最初の子は娘で、次は息子が欲しいです。

★タオさんは、結婚後も東芝で仕事を続けますか？

結婚した後も東芝で仕事を続けます。最後に、金曜日のサロンのボランティアの皆さんへの有難いことを伝えたいです。短い時間だけ日本に住んでいました。皆さんがたくさん教えていただきました。私にとって皆さんに知り合うことがとても嬉しいです。皆さん、お元気で過ごしてください。



## 私のふるさと ~6~

### 「黒四ダムとアルプスの思い出」

金曜午後ボランティア 鷹見正昭

私が生まれ育った故郷は、松本から大糸線で田園地帯を一時間ほど行った大町市です。

今は過疎化が進み昔の面影がありませんが、私が過ごした小中高校時代は活気のある街でした。昭和31年に「黒四ダム」の工事が始まり、そのダム工事で使用する資材の集積基地が大町市でした。

まず、工事資材を運搬する道路やトンネルの着工から工事が始まりました。私が特に興味を持ったのは、工事で使用する建設車両です。今まで目にしたことのない色々な車両を見ることが出来ました。手を伸ばしても届かない大きなタイヤの巨大ダンプカーなど時間が経つのを忘れて眺めていました。

中学二年の時（昭和34年）、父に突然「これからダム現場に行くから一緒に行くか…」と言われました。私はすぐ用意をし、ジープに乗り込みました。工事用の道がアルプスに向かって新設されていました。山の中腹に掘られたトンネルに入るとランプの明りが点々と暗闇の先へ続いています。長いトンネルでした。岩盤はむき出しで、コンクリート打ちはされていません。トンネルを抜けると、目の前に忽然と立山の山頂が現れました。谷底では、あの巨大ダンプカーが動き回っていました。大きなバケツ容器が次々と下りてきて生コンクリートを堰堤に流し込んでいました。この時の堰堤の高さはまだ50m位でした。

その後、私は松本の高校へ進学しました（昭和36年）。通学時間は片道一時間半ほどかかりました。電車で揺られながらアルプスの山並みを眺めるのが好きでした。松本から行くと、常念岳 → 鹿島槍ヶ岳 → 五龍岳 → 白馬岳と百名山の山頂が連続して眺められます。大糸線は山好きの方には堪えられない車窓風景です。そして、高校三年の時に黒四ダムが竣工しました（昭和38年）。

現在、地元では「山とダムの町」として売り出していますが、交通の進歩で素通りの観光客が多いのが実情のようです。



大町市の後ろにそびえる爺ヶ岳（左）と鹿島槍ヶ岳（右）

## 私の☆つづき

### 「秋の夜長におすすめの一冊」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

外国人技能実習制度が敷かれてから今年で25年が経ちます。その間、サロンの金曜夜の学習会では、ベトナムをはじめ、外国人技能実習生として来日した多くの学習者が日本語を学んできました。

一定期間内に日本の優れた技術を学び、それを自国の発展に活かす、というのがこの制度の建前ですが、彼らを、労働力不足を補う単純労働者としてしかみなさない受け入れ企業も多々あり、低賃金のうえ過重の残業を課し、それに耐えられず期間を残したまま帰国する者や、失踪して不法滞在者となるケースも頻発しています。昨年末の時点で、技能実習生は27万4千人を数え、そのうち失踪者が6千人を超えました。希望に燃えて来日した実習生の裏に隠された影の実態が明らかになるにつれ、企業の不正を監視する制度も強化されつつありますが、まだ技能実習制度が正しく機能しているとは言い難い状況が続いています。

そんなさなか、『叛徒』（下村敦史著・講談社）という本に出会いました。外国人犯罪者の取り調べに立ち会う通訳捜査官が主人公で、中国人の技能実習生が歌舞伎町で起きた殺人事件に巻き込まれ、

その捜査の過程で外国人技能実習制度の光と影が浮き彫りにされていくというサスペンスです。技能実習制度の仕組みがよくわかり、しかもエンタテインメントとしても楽しめる、秋の夜長におすすめの、一石二鳥の一冊です。



はいくずいそう  
俳句随想 ~3~  
あき おも  
「秋に想う」

きんようよる あかぎ きよ え  
金曜夜ボランティア 赤木喜代恵

あき きゅうれき しちがつ はちがつ くがつ しんれき はちがつ くがつ  
秋は旧暦で七月、八月、九月。新暦で八月、九月  
じゅうがつ  
十月とされる。秋の句、四句を挙げる。

おばあちゃんのリック萩の花あふれ  
何告ぐる秋蟬音を追い続け  
星流る手を振る人よ一期かな  
吾が老いに両手に余る菊捧げん

この頃、リックを負う人が多い。私も愛用している。小柄なおばあちゃんがペッタンコのリックに、こぼれる許り萩の花、思わず「おばあちゃん、何処へ往って来たの」と声をかけたくなる。

初秋、この世に蟬しか居ないと許りに泣き続ける。何処迄も追って来る様な蟬と話している私が居る。

年を重ねると友との交流が深くなる。しみじみ話して別れる時、これが最後かなと思う。

私は、若い頃、二十年近く結核の療養をして、いつも死が近くにいたのに長寿を頂いている。この年齢になると皆逝ってしまい、二十才、三十才年下の方とお話している。日本語の教室では、五十才位の方が大勢、嬉しくなって仲良くしている。

年を取ると淋しく、いやだと思ったが、高齢の日々は楽しい。吾が老いを祝福、沢山の菊を己の人生に捧げている。菊は、食べると仙人になると云う言い伝えがあるときく。又、大輪の菊は最後迄凛としてい

俳句はいつ頃出来たのか。長い歴史をたどる。故

金子兜太先生の『俳句のつくり方が面白いほどわかる本』によると、俳句は、奈良時代後期『万葉集』が出され五七五七七のかたちが決まり、短歌形式が確立した鎌倉幕府が出来る前、天皇を中心に五七五の「歌合わせ」をやった。後白河天皇の頃、皇室の方たちが「連歌」をはじめた。皇室護衛の武士が家の子、郎党を集めて「連歌」をはじめ、次第に庶民の中に入っていった。

公家達の「連歌」は「和歌の連歌」、庶民の間に広がったのは「俳諧の連歌」と呼ばれた。明治になって、発句だけ独立、正岡子規が発句を「俳句」と名付けて独立した。

筆者注：「連歌」は短歌形式の句を二つに分け、付き合わせたもの。

とう こう  
投 ◆ 稿

さいほう ぜんべん  
「モンゴル再訪」前編

きんようごご よしむら こ  
金曜午後ボランティア 吉村まみ子

5月30日、MIAT モンゴル航空で成田空港を飛び立ちました。前回はチンギスカン空港を砂嵐が襲い着陸できないため成田空港を出発したものの八時間待たされました。オバマ大統領が広島を訪れた時です。テレビ中継を見る事が出来ないと諦めていましたが、皮肉にも全部見る事が出来ました。

今年はオンタイムに出発しました。私は、飛行機が大好きです。なぜなら、これから訪れる国で何を見たり経験したりするのかとワクワクするからです。飛行機内でのアテンダントの方が素敵です。何にするのか聞かれる時のなごやかな笑顔はたまりません。私は白ワインを注文して機内食をいただきます。ウランバートル空港は改築して間もなくです。大きくはないですが利用しやすくなりました。海なし国ですが帆船の写真が飾ってありました。ガイドのTさんにこやかに迎えて下さいました。最初にモンゴルに行った時からの出会いです。今年もご一緒して下さいました。三十三才、今年九月に結婚をなさる

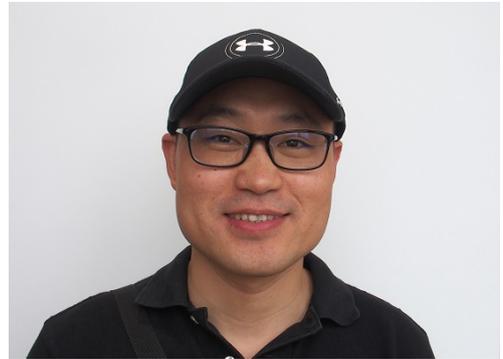
そうです。私達は大いに祝福をしました。  
 道路工事中を通過するのに渋滞にあい、テレルジのキャンプに着いたのは、十時すぎました。白いゲルがポッカリ浮かんで見え、電柱が明るくて星空がよく見えませんでした。夜が明け、ゲルから顔を出すと丘には、牛馬の群れが草を食しているのが見えました。バックには、恐竜を思わせる奇岩が横たわっていました。食事はゲルの宿泊客達がレストランに集まり、とります。モンゴルはロシア人の観光客が多いですが、近年は、ヨーロッパ、中国、韓国、日本からが増えてきました。三日間、乗馬を楽しみましたがあちこちに白いゲルのキャンプが見えました。草原には奇岩がたくさんあります。人の顔、仏像、動物、恐竜など想像豊に眺めながら馬を歩かせたり走らせたりして草原をひとりじめにして楽しみました。

遊牧民のゲルを訪問しました。中年のご夫妻と四年生の女の子、幼稚園児の男の子の家族です。丁度モンゴルのこどもの日に当たりましたので、鉛筆、菓子のお土産が喜ばれました。(この日は国連こどもの日)ゲルの中は、神棚、食器棚、テーブル、など素晴らしい彫刻がほどこしてありました。羊のミルクティー、甘いチーズのお菓子、揚げたねじり棒などをごちそうになりました。羊の解体ショーがありました。私達は残酷に思えて見ませんでした。遊牧民にとってこれは生活の一部なのです。夜食に解体した羊の肉が山盛りにテーブルにのりました。ショーを見た人達も、おいしそうに食べていました。私もおそろおそろ食べましたが、やはりおいしかったです。(11月号に続く)



みな かくしゅうしゃしょうかい  
**皆さんよろしく◇学習者紹介**

おう せつひょう ちゅうごく  
**王 雪冰さん (中国)**



げつかん いくじきゅうか  
**「なんと！6か月間の育児休暇でした」**

中国遼寧省瀋陽市から2003年日本語を勉強するため来日しました。九州にある日本語学校に通いながら、アルバイトにも精を出し、月謝を出した上、両親に仕送りまでしました。

その後、九州工業大学の修士、博士課程へと進み、生命体工学研究で、ロボット関連の研究をしました。奨学金とリサーチアシスタントの給料を大学からもらい研究に専念しました。

日本に来る前、中国の大学で電子工学を勉強して就職したこともありましたが、現在は日本の企業で働いています。

奥様は同郷の人で、今1年間の産休をとっています。王さんも6か月育児休暇をとりました。子育てに協力してくれる会社に感謝しています。

物事をあまり気にしない、おおらかな性格だとご自身がおっしゃっているように、日本に来て、良い人達に逢って、生活もエンジョイしている様子です。

お嬢さんが体も心も健康で成長してくれる事を願っている良きお父さんです。また、子供の言語教育に関心が高く、夢を語ってもらいました。

(堤 林)

# ひろば みんなの広場

## 「茂田さんを偲んで」

きんようよる せんぼ たかし  
金曜夜ボランティア 仙波 昂

茂田さんが8月7日に亡くなったという訃報を野川前会長から聞いた時、まさかと思いました。

私は茂田さんとは時々電話で話し合う間柄ですが、最後の電話は4月28日のことでした。いつもはサロンのこととか、パソコン関係のこととか何かしら用があったのです。しかし今考えるとこの時はさして用がありませんでした。話し声はいつもの茂田さんで変わったこともなく、私は一度金曜の夜にいらしてくださいと言って電話を終えたと思います。葬儀の時ご遺族から5月になって急に体調を崩したと伺いましたが、もしかしたらご自身はその前からなにか感じておられたのかもしれない。亡くなるなんてとても悲しいことでした。

私は茂田さんとは同い年で、サロン設立当初から一緒にボランティア活動をやってきました。大袈裟に言えば戦友でした。しばらく後で知ったことですが、学んだ学校も学部も同じなのです。サロンで活動される前に別の所で日本語教育に携わっておられたと聞いたことがあります。サロンでは2年くらい前までは専ら金曜日夜のクラスでボランティアをされていましたが、事情でその後金曜日の昼間のクラスに移られました。金曜夜では本当に面倒見がよく、全く日本語が話せない学習者や数人でのグループレッスンなどもお願いしておりました。茂田さんには困った時には相談を持ち掛け、励ましを受けたことも多々あります。

またサロン日本語学習発表会の初代の責任者として今日の日本語学習発表会の礎を築いてくださいました。日本語学習発表会はスピーチコンテストとは違って、スピーチの優劣を決めるのではなく、学習者が日頃の学習の成果を発表することに意義があるという理念を実現してくださったのです。サロンではまだまだ茂田さんのご活躍を必要としてい

たのに、急に旅立たれて残念でなりません。どうか天からサロンを見守ってください。

茂田さんさようなら、ご冥福をお祈りします。どうか安らかに眠りください。合掌。



## ～第3回スキルアップ講習会報告～

### 「初級 I で学ぶ助詞の種類」

けんしゅうぶかい かよう ゆみこ  
研修部会 萱生 由美子

猛暑が去り、暑さからやっと解放された9月22日(土)は、40名の方達が参加しました。

今回は5種類ある助詞の中から、格助詞を取り上げました。

格助詞「が」「を」「に」「で」「へ」「と」「から」「より」「まで」「(の)」は、名詞に付いて、動詞や形容詞とどのような関係になるかを示す役割を持ちます。それは文の意味を決定する重要な役割でもありません。※「の」は、格助詞と準体助詞がある。

今日の研修目標は、初級 I の教材ではどのような順番で、何課に何の助詞が出てくるのか、また、その助詞の機能は何なのかを確認することです。参加者は、各グループで話し合いをしながら、「みんなの日本語」の1課～25課のリストに、格助詞の機能を確認して記入する作業を行いました。以下はその一例です。

#### 1課 (名詞文)

さくら大学の先生です —— 所属

アメリカから来ました —— 動作の起点

#### 5課 (動詞文)

京都へ行きます —— 方向

タクシーでうちへ帰ります —— 手段

家族と日本へ来ました —— 同伴者(連れ)

#### 13課 (願望)

車が欲しいです —— 願望、状態の対象

すしを食べたいです — 動作の対象  
神戸へ船を見に行きます — 動作の目的

## ～編集後記～

この作業を通して、初級 I の 25 課までに、ほとんどの格助詞が出て来ることが分かりました。そして、ひとつの課に出てくる 1 種類の格助詞は、原則としてひとつの機能だけを示しています。同じ格助詞のいくつもの機能を同じ課の中に入れると学習者が混乱してしまうからです。

最後に柏崎先生から、助詞の意味や用法を知っておくのはボランティアの自分自身の為であり、学習者には典型的な例文を挙げて指導すること、とのお話がありました。

多数の良い例文がすぐ出てくるように我々も心掛けることが大切です。

今年の夏は暑かった！  
7月23日には、気象庁の府中観測所で最高気温が38.8度と記録されました。  
近海の温度の高さか、台風が日本の近くで発生し、あちこちで災害が引き起こされました。  
昔から「暑さ、寒さも彼岸まで」という言葉があるように、暑かった夏も終わり「読書の秋」になりました。

パソコン、タブレット、スマホとデジタル機器をいじっていて、本を読む時間が昔よりずいぶん減ったな～と感じているこの頃です。

(堤 林)

【編集】会報部会/和田、堤林、岩城、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

